

平成23年度 第1回学校評議員会(HP)

本年度第1回学校評議員会を7月14日(木)開催いたしました。

学校側からの説明に続いて学校評議員の皆様よりご意見、ご助言をいただきました。

1 学校からの説明(本年度の課題と状況)(学校各分掌より説明)

(1)進路指導

- ①信州大学へ進学する層が学校の中心となる層と考え、学力向上をはかりたい。
- ②新学習指導要領に基づき、進路指導の視点からも新カリキュラムをより充実したものとしていきたい。
- ③今秋より信州大学工学部での実験実習をすすめる。高大連携及び中高連携をすすめたい。

(2)生活指導

- ①学力の偏差値とともに、「こころの偏差値」をあげるよう尽力したい。具体的には「生活習慣」と「人格の形成」を。
- ②他者への想像力、「危険」に対する認識や準備、生活面での精神的技術的自立、集団の中での協調性と論理的自己主張能力を育てたい。

(3)生徒会

- ①東日本大震災支援の視点を継続的にもって活動したい。
- ②朝の校外清掃活動の継続を、委員を中心によく取り組んでいる。
- ③挨拶の徹底を、呼びかけ、次第に挨拶がよくなってきている。
- ④仲間の活躍を全校生が知ることが大切だと考え、壮行会を今年から始めた。

(4)教務

- ①公開授業、体験入学、学校説明会等で須坂高校の特色を中学生及び地域の皆様にご理解いただけるよう、努めていきたい。

(5)PTA

- ①PTA総会、研修会の今年度の新企画について。
- ②りんどう祭でのPTA正副会長のアイデアによるPTA展示について。
- ③三校会議について。

2 学校評議員の皆様からのご意見

(1)体験入学について

- ・須坂高校と他校では体験授業の受講の決め方が違う。須坂高校は生徒の自主性にまかせる校風があるので、どちらの方法がよいということはいえないが、受付・保護者の誘導・案内について更に方法を検討して頂けると有り難い。
- ・教務主任から回答：今年は、案内について改善を考えている。また、受付等について検討をする。

(2)土曜日授業について

- ・土曜日授業を行っているかどうか、須坂高校で行っている場合は、その手当はどうなっているか。
- ・学校長から回答：須坂高校で土曜日に補習、模試、講演会などの講座を行っている。長野県で土曜日に授業を行事日として実施しているのは3校である。須坂高校では、同窓会事業「竜胆学舎」として行い、同窓会より手当がでている。

(3)生徒指導と須坂高校生の学校生活

- ・大学でも生徒指導が必要になっている状況があるというご意見。
- ・生徒指導主任から回答：生徒の私物管理について、自分の物がなくなっていることもわからない状況もある。生徒へは、私物管理と、他者への想像力をもつように指導している。
- ・須坂高校生は、他者とのコミュニケーションがとれているかどうか、きれんということはあるかどうか。
- ・生徒指導主任・生徒会主任から回答：須坂高校生は、きれない。かなり叱ってもかなりの耐性がある。反抗する生徒は、いない。

(4)連携について

- ・本校進路指導主任：今秋より、希望者を募り信州大学工学部で実験実習を始める。中学等とも連携を考えることはできないか。
- ・高校教員が学力層の広い中学で授業をするのは難しいのではないか。部活動等交流や、指導者間の研修ということは可能かもしれない。